

期
終戦前
自五月
至八月

大東戦争関係衛生史編纂資料

調製官

陸軍軍醫少佐 安藤正孝

江西有部
南昌縣隊
南昌縣

獨立歩兵第七旅團

一 部隊行動の概要

兵團の前同様管内警備を任ずると共に討伐を實施し、外教育訓練
並に防空対策に遺憾ナキヲ期ス

特ニ兵團ハテ號演習關係通過兵團ニ對スル兵站業務ヲ擔任シ演習後
係指揮下部隊ヲ各地區隊ニ配屬シ道路橋梁ヲ補修、通信網構成諸
材料、補給箱施設、檢疫所設置、患者ノ處理等演習諸準備ニ
専念シ概テ八月五日ヲ以テ各地區隊共諸準備ヲ完了ス

八月三日安義地區ニ第三十四師團ノ陣内到着ヲ皮切ニ續キテ第三師團同
地區内ニ到着スルリ夫々陣内陣前ニ宿營シ兵團ヨリ檢疫糧秣補給其
他兵站諸業務ノ實施ヲ受ケ第三師團ヨリ逐次九江方面へ前進ヲ開始ス
尚第四十師團一部(船團隊)ハ水路贛江ヲ下リ南昌市ニ入り主力ハ南昌

0169

北進隊(獨歩二大隊)陣前到着ス之ニ相前後第二十七師團八新建地區
隊(獨歩二大隊)陣前ニ達ス頃八月十五日、終戦ノ大詔ヲ拜セリ
海軍關係兵團配屬部隊左ノ如シ

自動車第三十一聯隊第二中隊ノ一小隊

獨立自動車第三百十五大隊ノ一小隊

獨立混成第八十四旅團工兵隊ノ一小隊

電信第三十八聯隊第七中隊ノ一部

九江碇泊場所屬掃海隊

第八十四兵站地區隊ノ一部

第八十七兵站病院(含第八十七兵站病院ノ一部)

第三十四軍臨時防疫隊

第三十四軍臨時病馬廠

總軍軍樂隊

司令部主要行事

0170

(1) 毎週二回司令部會報ヲ實施シ演習準備ノ進捗ヲ圖ル

(2) 七月中旬部隊長會同ヲ實施ス

(3) 西山嶺店前街ノ演習ニ事ヲ着目ス

(4) 七月中旬兵團長安茂萬家舉附近演習準備状況ヲ視察ス

(5) 七月上旬十日間暑中稽古ヲ實施ス

(6) 七月中旬第六方面軍大塚少佐以下南昌ニ連絡所ヲ開設ス軍

醫部、内日軍醫中尉)

(7) 隷下各大隊ノ挺身奇襲訓練査閲ヲ實施ス

六、豫指拂下部隊ノ行動概要

(1) 獨立歩兵第百十五大隊(南昌地區隊)

南昌地區ノ警備ニ任ズルニ號演習呼應部隊トシテ戰ヲ豫想シ挺身奇襲訓練邁進シアリガ通過兵團ニ對スル兵站業務ヲ擔任シ地區内ニ兵站出張所、檢疫所並ニ患者集合所ヲ開設第四十師團ニ對スル兵站諸業務ヲ處理ス

0171

(2) 獨立步兵第三十六大隊(新建地區隊)

新建地區警備に任ずルと共に、號演習準備トシテ橋梁ノ補修諸材料、集積等兵站業務ヲ擔當シ兵站出張所、檢疫所、及患者集合所、開設シ第七師團ニ對スル兵站諸業務ヲ處理ス

(3) 獨立步兵第二十七大隊(安義地區隊)

安義地區警備に任ズルと共に兵站諸業務ヲ擔任シ、月上旬患者療養所ヲ開設スル外、通過兵團到着ニ伴ヒ檢疫、宿營糧秣其他諸材料ノ補給ヲ實施ス

(4) 獨立步兵第二十八大隊(直隸地區隊)

南昌直轄地區及永修地區ノ警備に任ズルと共に、演習關係諸準備ニ邁進ス。自上月十二日、在南昌に郷黨人一部ヲ警備召集シ、南昌市防衛ノ警備訓練ヲ實施ス

(5) 指揮下部隊(臨時配屬部隊)

司令部直轄或ハ各隷下大隊ニ配屬シテ兵站諸業務ヲ處理ス。總

軍軍樂隊ハ各地區ヲ巡回演奏シ將兵志氣鼓舞ニ努ム

二衛生勤務ノ概要

本野所ハ専ラテ號機羽業務ニ没頭スル傍保育防疫及衛生諸施設ノ改善並ニ對煉施設ノ完備ニ努ム

七月上旬二回三三リル江ヨリ水路演習用衛生材料約三千六百梱ヲ集積シ各交付所又各大隊醫務室ニカ積シ通過兵團ニ對シ一括交付シ得ル如ク準備ス第ハ止兵站病院ハ主カヲ以テ南昌三部ヲ以テ安義三患者療養所ヲ開設開設後安義地區隊ニ配屬演習參加部隊患者ノ收療後送ニ任ス

第三十四軍臨時防疫隊ハ本部ヲ南昌ニ悟簡吳村南背李及安義ニ支々出張所ヲ設ケ通過兵團ニ對スル檢疫ヲ實施ス

隸下各大隊醫務室、第八南兵站地區隊醫務室、安義患者療養所及防疫隊各出張所ハ附近華民街ノ衛生狀況調査並ニ宣撫治療ヲ實施ス南昌直轄地區隊ヲ除キ各大隊醫務室ハ兵站醫務ヲ兼掌ス尚南昌日

地區隊及新建地區隊患者集合所ヲ開設ス

軍醫部主要行事

ハ七月中旬隷下各大隊衛生部主任將校ヲ會同シ演習關係事項關スル連絡ヲナス

(2) 高級醫官ハ每週實施司令部會報ニ出席ス

(3) 高級醫官ハ療養所、檢疫所地形偵察、爲七月二日蓮塘、七月八日安義ニ

七月二十日尙井李ニ出張ス

之、總指揮下部隊

(1) 獨立步兵第三十五大隊

(イ) 自七月十二日 幹部衛生教育

(ロ) 自七月十四日 至七月十五日 檢疫所施設作業援助

(ハ) 七月二十日 尙堪村衛生材料交付所ノ設置

(ニ) 八月五日 武東軍醫中尉以下全ヲ開設ス

(2) 獨立步兵第三十六大隊

(4) 附文(第30)

0174

(1) 七月二十三日 宣撫用衛生材料ヲ受領シ宣撫治療ヲ開始ス

(2) 八月十日 演習諸準備完了ス

(3) 獨立歩兵第百十七大隊

(4) 舟木軍醫中尉ハ兵站醫務ヲ兼掌ス

(5) 安義地区ノ宣撫治療ヲ實施ス

(6) 獨立歩兵第百十七大隊

永修地区隊ハ永修涂家埠附近ノ宣撫治療ヲ實施ス

(7) 第三十四軍臨時防疫隊

各地ニ出張所ヲ設ケ待機シテガ安義地区通過兵團到着ト共ニ檢

疫ヲ開始ス

(8) 第八十七兵站病院

前回ニ引續キ南昌ニ位置シ一部ヲ以テ安義患者療養所ヲ開設シ兵
團患者ノ收養後送ニ任スルト共ニ演習参加部隊ノ患者收容準備ヲナス
特ニ防疫施策ヲ強化スルト共ニ收容力ノ増加ニ努ム

三、衛生機関ノ配置運用状況

一、衛生機関ノ配置状況別紙ノ如シ

二、第八十七兵站病院

前南島患者療養所内ニ開設之ヲ併シ指揮シ患者二千二百名ノ收容ヲ準備シ患者ノ收療後送業務ヲ擔任ス 自動車ニ患者自動車三
三、患者療養所

第八十七兵站病院一部ヲ以テ開設シ患者八百名ノ收容ヲ準備シ安義地區隊長ノ指揮下ニリ本部ニ萬家軍一部ヲ安義ニ差出シ分病院ヲ開設シ患者ノ收療後送ニ任ズ 患者自動車一

四、患者集合所

獨歩二百十五大隊ヨリ武東軍醫中尉以下尚堪村ニ又獨歩二百十六大隊ヨリ川勝軍醫中尉以下植園方附近ニ開設ス

五、患者救護班

第八十七兵站病院ヨリ大々將校以下十名尚堪村ニ植園方ニ待機ス

0176

陸 軍

衛生材料交付所

所在地	旅團區醫部 南昌衛生死料交付所 安義衛生材料交付所 獨步百五大隊指揮下)
擔任部隊	各交付所及通過各兵團 第三師團 第三十四師團 第四十師團 第二十七師團
補給部隊	

1. 收容發達系統別紙，如シ

患者，收容狀況（六月十五日迄）

第八立兵站病院

張而名，並卜其長，則靈矣。

約百名、主として兵團患者

(四) 安義患者療養所

第三師團 約百五十名 第三十四師團 約百名 兵團患者 約十名

(ハ) 八月十五日現在兵站病院入院患者

總數 五百五十名

内譯 マリアニ由、赤痢、タバ、七、細菌性赤痢、八、脚氣、五、結核、三、氣マリア、三

兼赤痢、タバ、一

五、患者の状況

兵團内患者數、概ね前回ト大差ナシ内、マリア患者ハ其ノ半數ヲ占ム

別	マリア	脚氣	感冒	扁桃腺炎	肋内急慢性腸炎	蛔虫症	外痔	其他	計			
員數	七三	二	五	二	一	二	七	五	二	一一	一一	一一

ハ、八月十五日現在兵團入院患者數

總計二百二十名、内マリア六、細菌性赤痢三、赤痢、タバ、四、脚氣二、結核一

六、防疫防瘧の状況

0178

0179

約百名 主トシテ兵團患者

(四)安義患者療養所

第三師團 約百五十名 第三十四師團 約百名 兵團患者約十名

(ハ)八月十五日現在兵站病院入院患者

總數 五百五十名

内譯 マラニ西、赤痢、七、細菌性赤痢、脚氣、五、結核、三、氣管炎、三、

兼赤痢、一

五患者狀況

獲歩二六大隊新患發生數(他大隊ノ分ハ資料ナシ)

0178
0179

ハ傳染病ハ各部隊共殆ンド發生ヲ見ズ

ニ管内通過兵團宿營地華民區ノ檢問ヲ實施ス

又七月上旬コレヲ豫防接種並ニ三種混合豫防接種ヲ實施ス

ハ通過兵團ニ對シテ檢問檢診ヲ重視シ重點的ニ檢索ヲ實施スル外傳染病

發生部隊ニ對シテハ「グレン」石鹼液噴霧及昇衣着ヲ實施ス

又通過兵團檢索ニ依ル病源檢出ハ赤痢五乃至六名 腸チフス二乃至三例ニ過

ギス

樟樹鎮及高安ニコレヲ發生シ死者續出ノ密乙ヲ得タルモ其後確證ナ
ク通過兵團ノ言ニ依レバ事實無根ニシテ市街通過ヲ避ケントスル良民ノ

流言ナルベシ

又マシラ患著多發兆アルニ鑑ミ各部隊共防疫對策ヲ強化ス

七 給水ノ状況

ハ兵團内給水ハ前回ト大差ナシ

又通過兵團ニ對スル給水ハ特ニ實施セズ

八、保育ノ狀況

旅團特別鍊成隊ハ前半期檢閲ヲ終リ体力鍊成期ニ入ル

ニ、午後約三時間ノ午睡時間ヲ設ク

三、通過兵團ハ陣前到着時体重測定ヲ實施スル如ク指示セラルタメ

各地區隊休重計ヲ準備ス

九、衛生材料ノ狀況

一、兵團衛生材料ノ狀況ハ其後補給ナク特ニ硫規鋌不足ス

二、演習用衛生材料トシテ約二千六百梱ヲ集積シ左ノ如ク分積ス

南昌交付所

一〇〇〇梱

安義交付所

九〇〇梱

甯背李(百十五大隊)

三〇〇梱

尚堪村

三〇〇梱

十、地方衛生指導ノ狀況

一、七月上旬各地區隊ハ邦人及中國人ノコレヲ豫防接種ヲ實施ス

在南昌市民被接禮者約三万名

七月中旬通過兵團宿營地附近部落民、宣撫右廢ヲ實施ス

陸軍

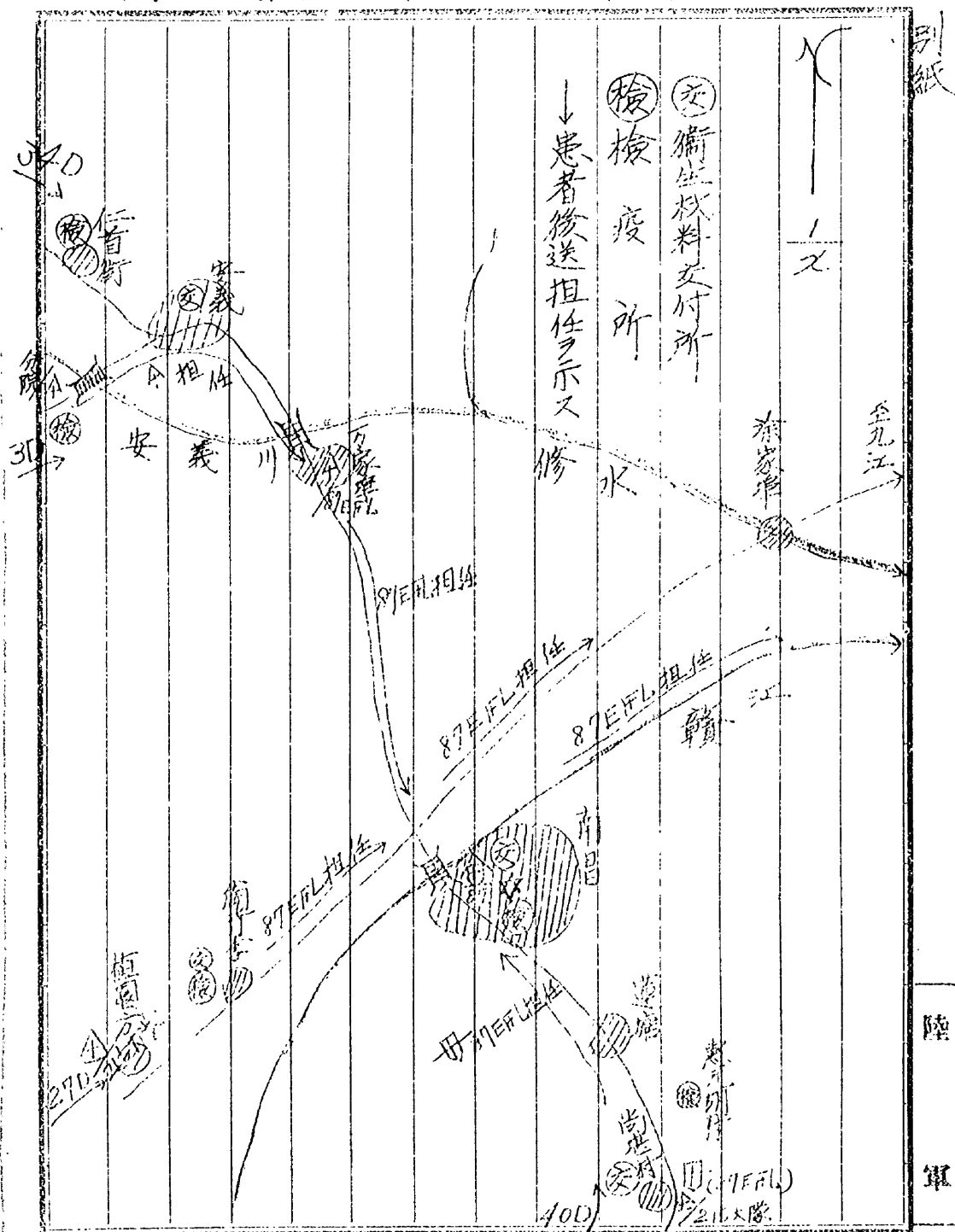
0182

[illegible]

(4.2) 許美、方、東)

0183

衛生機関配置状況 患者收容後送路



稿本原・版大・八・三十和昭

0184